

(別紙)

U I J ターンを中心とする富山県人材確保連携支援計画

I 必須記載事項

1 連携支援事業の目標

(1) 支援対象とする事業分野

本連携支援計画では、富山県地域未来投資促進計画（第2期）に定める以下の事業分野を主な対象とする。

○富山県内の電子デバイス、機械・金属や高度技術・新素材技術の集積を活用した成長ものづくり分野

※富山県地域未来促進計画（第2期）「5（1）地域の特性及びその活用戦略」に記載のあるその他の分野においても、複数の分野を横断した支援事業を実施する場合がある。

<富山県の産業構造と課題>

富山県は、「良質で豊富な水資源や、地震や台風などの自然災害の少なさ、交通の利便性」といった立地条件を満たしており、優れた産業インフラを形成し、多くの半導体等のデバイスメーカーが立地している。戦前や高度成長期などに立地した化学工業が製造品目の更新に取り組み、半導体やF P Dなど電子材料の製造に進化してきているほか、I T 関連製造業では、グローバル製品に使用される基盤／素材、電装／機能部品といった部品・加工メーカーの集積が見られ、デバイスメーカーへの部品供給、加工等の素地が整っている。

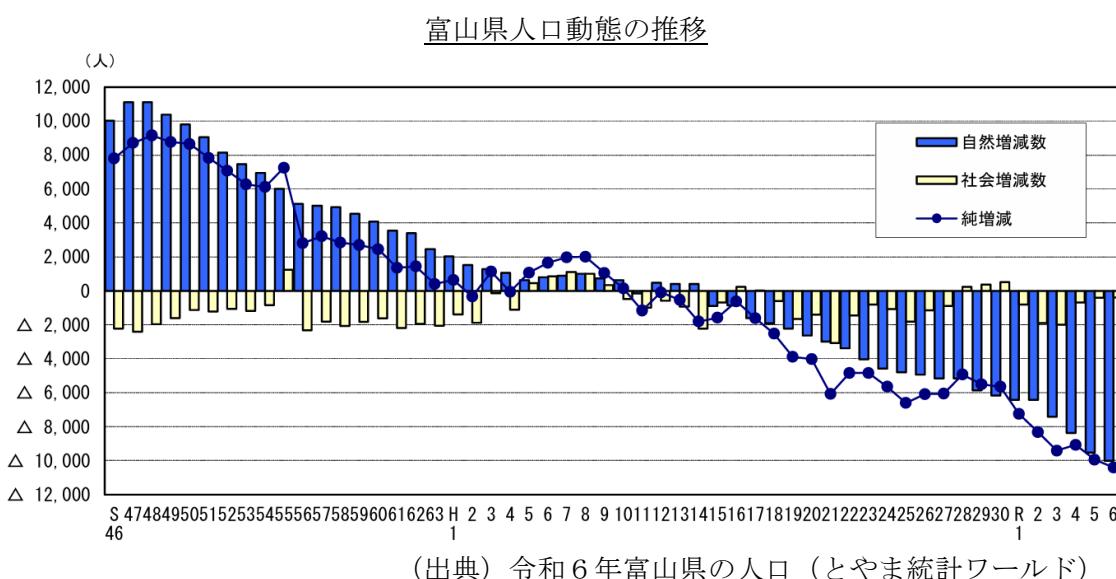
また、戦前から蓄積されていた銅・鋳物等の加工技術により、住宅用建材などアルミ産業の集積が進み、技術力の高い生産用機械関連企業や中京地域の自動車産業を支える部品メーカーなど機械・金属に関連する産業も集積している。

富山県としても、こうしたものづくり分野の技術力を高めるため、産業振興の拠点として「富山県ものづくり研究開発センター」を整備するなど、産学官が連携して技術開発に取り組むとともに、人材育成を進めている。

また人材確保（人材育成・確保）に向けた取り組みとして、

- ① デジタル人材やものづくり人材の育成、女性、若者、中高齢者や配慮の必要な方の職業訓練の促進
- ② リスキリングの取組み支援
- ③ 大学等におけるインターシップ等の実施など、職業意識の早期形成のためのキャリア教育の推進と中小企業との出会いの場の提供等の中小企業と学生の雇用ミスマッチ解消
- ④ 学生のU I J ターン就職や県内定着の促進のための各種イベントの実施、各種助成制度の拡充

等さまざまな取組を推進・支援を行っているが、富山県の人口は全国より10年早い1998年をピークに減少しており、2024年9月現在自然動態で22年連続の減少、社会動態でも6年連続での減少であり、いわゆる就業人口の人材確保が急務である。このような状況下、富山県の地域の特性・優位性のあるいわゆる成長ものづくり分野を中心とした人材確保に向けて、関係機関と連携した連携支援事業を行う。



(2) 地域における地域経済牽引支援機関の連携による支援体制の構築

株式会社ドリームキャリア富山は、県内企業で働きながら日本リーグ（現Hリーグ）でプレーを行う社会人ハンドボールチーム、富山ドリームスの設立（2020年）以来培った実績・ノウハウを他のスポーツ等にも広げ、人材不足に悩む企業への課題解決の一助につなげたいと、2024年7月に有料職業紹介事業認可を得るとともに富山県並びに富山県スポーツ協会の協力・支援を得て、4者（チューリップテレビ、富山銀行、富山ドリームス、当社）コンソーシアムを組成し、県内企業と主に県外在住者の若年層中心のマッチング事業、「地域の人事部」を本格的にスタートさせた。この過程で培ったネットワークやノウハウを活かし教育機関である富山福祉短期大学、経済団体である富山経済同友会の協力も得て、若年層を中心とした人材の獲得・定着を支援する事業を展開してきた。

今後も、富山県、富山県スポーツ協会等の行政機関、富山福祉短期大学等の教育機関など地域経済牽引支援機関等と協力し、成長ものづくり分野を中心に人材面から富山県の産業の持続的発展を支える産学官金の連携を強化し、地域全体で人材確保や定着等の課題解決に取組む支援体制を構築していく。

(3) 地域の地域経済牽引支援機関の役割と責任の明確化

本連携支援計画の「3. 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の連携又は連絡に関する事項」に基づき、連携支援事業を共同で実施する各支援機関の役割と責任を明確にする。また、地域外の支援機関と協力・連携を図り、効果的な

連携支援事業の推進を目指す。

(4) 地域外の支援機関との協力・連携

より良い支援を行うためには、既存のノウハウや専門知識だけでは十分でなく、時代の変化に対応したさらなる知見や実践が求められる。特に当社は、富山県内企業と主に県外在住者の若年層中心のマッチングを行っていることから、富山県大阪事務所や首都圏本部に加え、県外大学進学者の多い、東京・大阪・名古屋の大学等の協力を得ながら、進めていく。また経済産業省地域の人事部の全体交流会で知り合った全国の「地域の人事部」事業者とも情報交換しながら、不足部分を補強する。

(5) 想定する支援件数

富山県内の成長ものづくり分野において、2025年度～2028年度で計65件を支援する。

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	合計
目標件数	5件	15件	20件	25件	65件

(6) その他（実績）

株式会社ドリームキャリア富山が本連携支援事業を推進するにあたり、関連する実績を記す。

① 人材マッチング支援（2024年度、2025年4月入社含む）

県内企業へ新卒8名、中途採用4名のマッチングに成功した。（うち11名がUターン、Iターン）

なお、富山ドリームスの立ち上げから当社の役員が関わった富山ドリームスの選手を含めれば、現在35名が県内企業で働いている。（うち33名がUターン、Iターン）

② 東京・大阪での県内企業参加によるリアル交流会（2024年度、2025年7月までに合計4回実施）

延べ20社の県内企業、延べ45名県外在住者（大学生・転職希望者）

③ 県内企業参加によるオンラインセミナー（2024年11月、2025年6月の2回開催）

延べ15社の県内企業、延べ97名の大学生・転職希望者

④ 県内企業参加による地元（隣県含む）大学運動部キャリアセミナー

延べ15社の県内企業、158名の大学生が参加

⑤ 県内企業参加による県内高校運動部キャリアセミナー

延べ29社の県内企業、252名の高校生が参加

⑥ 令和6年度「地域の中堅・中核企業の経営力向上支援事業補助金（地域戦略人材確保等実証事業）」採択

上記により培われた実績・ノウハウを基に更に発展させる形で本連携支援事業を構築し、富山県の成長ものづくり分野への人材確保・定着に努める。

2 連携支援事業の内容及び実施期間

(1) 連携支援事業の内容

本連携支援事業では、富山県地域未来投資促進計画（第2期）「6（5）③人材確保に向けた支援（人材育成・確保支援）」を促進するため、県内の中小企業等が抱える人材面の諸課題に対して、総合的なサービスをワンストップで提供する人事ネットワーク「富山の人事部」を運営する。ワンストップで運営するためには、行政機関、教育機関を始め、知見・ノウハウのあるチューリップテレビ並びに富山銀行を本連携支援事業の共同事業者として運営し、企業の抱える人材の面の諸課題解決を通じて、産業の発展を目指す。

特に前述の通り、富山県は、2024年9月現在自然動態で22年連続の減少、社会動態でも6年連続での減少であり、いわゆる就業人口の人材確保が急務であることから、当面は、

- ・職業意識の早期形成のためのキャリア教育の推進と中小企業との出会いの場の提供等の中小企業と学生の雇用ミスマッチ解消
- ・学生のU I Jターン就職や県内定着の促進のための各種イベントの実施を中心にして、1.（6）に記載の実施を通じ培ったノウハウ等を更に進化させ、既に知見・ノウハウを有する共同支援機関のイベント等を活用し、セグメント化を行い、以下の通り実施する。

① 職業意識の早期形成の方策（中小企業との出会いの場の提供）

・高校生ものづくり応援フェスの開催

チューリップテレビで放送中の高校生のものづくりを応援する番組のリアルイベント（県内企業が協賛し、主に小・中学生向け）

・県内高校運動部向けキャリアナビ

プロチームの試合観戦やTシャツ等の練習着等の提供をセットにした複数の県内参加企業による会社説明会

・地元（隣県含む）大学運動部向けキャリアナビ

プロチームの試合観戦やTシャツ等の練習着等の提供をセットにした複数の県内参加企業による会社説明会

・地元出身のアスリート講演会

デュアルキャリア（働きながらスポーツを続ける）、セカンドキャリアをテーマとした講演会（主に学生・県内企業関係者向け）

② 学生のU I Jターン就職や県内定着のための各種イベント

・大都市圏（東京・大阪・名古屋）でのリアル交流会

複数の県内企業と県外の大学生・転職希望者との会社説明を含めた懇談会

・オンラインセミナー

複数の県内企業と県内外の大学生・転職希望者との会社説明を含めた懇談会

・スポーツもテーマにしたオープンセミナー

富山福祉短期大学等の主催による複数の県内企業参加による県内外の高校生向けセミナー

・県外高校・大学運動部の合宿誘致

富山県の良さを実感してもらい、複数の県内企業会社説明会をセットで実施。

・県内プロチーム選手等とのセカンドキャリアに向けた個別相談会

県内プロチーム（野球：富山サンダーバーズ、サッカー：カターレ富山、バスケットボール：富山グラウジーズ等）との連携による希望する県内企業とのマッチング

・新人・若手社員セミナー

知見・ノウハウのある富山銀行主催の基本的なビジネスマナー等研修（同世代の交流も意図）

・各社のインターシップサポート

知見・ノウハウのある富山銀行からの支援

③ リーダーの人材育成

・経営セミナー（次世代経営者向けセミナー含む）、各種研修

富山銀行主催の参加者の情報交換・交流を意図したセミナー、研修

・事業承継サポート

知見・ノウハウのある富山銀行からの支援

④ その他

・富山県スポーツ協会を通じた各競技団体指導者向けPR

全体会議等でのPRを踏まえた個別対応

・富山経済同友会を通じた各企業関係者宛イベント参加案内

参加案内配布後の個別対応

(2) 実施時期

本計画の期間は、富山県地域未来投資促進計画（第2期）との整合性を図る観点から、承認の日から2028年度（令和10年度）末日とする。

3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	① 株式会社ドリームキャリア 富山 ② 富山県高岡市御旅屋町 1222-2 ③ 社長 指崎 泰利	当該連携支援事業の代表者 ④ 連携支援事業全般に関する事務局を務め、企画・運営の主体となり、事業の進捗管理を実施する。
2	① 富山県 ② 富山県富山市新総曲輪1-7 ③ 知事 新田 八朗	④ 富山県は、スポーツ振興課が窓口となり、(株)ドリームキャリア富山が実施する各事業について、必要に応じてオブザーバー参加するとともに、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。そこから見えてきた課題や経営者、人事担当者などの声を県が実施する各種施策に反映させることで、一体的な地域経済牽

		引の支援につなげる。
3	① 公益財団法人富山県スポーツ協会 ② 富山県富山市秋ヶ島 183 ③ 会長 新田 八朗	④ 富山県スポーツ協会は、(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業について、必要に応じてオブザーバー参加するとともに、各競技団体の指導者等に事業に関する周知を行う。また、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。
4	① チューリップテレビ ② 富山県富山市奥田本町 8-24 ③ 社長 山野 昌道	④ チューリップテレビは、(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業について、必要に応じてオブザーバー参加するとともに、知見・ノウハウのある事業については、企画・運営等においても主体的に関与を行う。また、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。
5	① 富山銀行 ② 富山県高岡市下関町 3-1 ③ 頭取 中沖 雄	④ 富山銀行は、(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業について、必要に応じてオブザーバー参加するとともに、知見・ノウハウのある事業については、企画・運営等においても主体的に関与を行う。また、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。
6	① 富山福祉短期大学 ② 富山県射水市三ヶ 579 ③ 学長 泉 敏郎	④ 富山福祉短期大学は、(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業について、必要に応じてオブザーバー参加するとともに、知見・ノウハウのある学生向けイベントについては、企画・運営等においても主体的に関与を行う。また、各事業における成果や課題についての意見交換を実施する。

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

本計画に基づく連携支援事業を円滑に実施するため、地域経済牽引支援機関との定期的な情報交換の実施や、オブザーバー機会の設定を行う。また支援機関に知見・ノウハウのある事業については、企画・運営等においても主体的関与を依頼する。

① 行政機関

富山県、富山県スポーツ協会と (株) ドリームキャリア富山は、年に数回の「情報交換」を実施する。各機関が進める事業や施策について、成果や課題を共有し、双方の立場から地域企業の人材領域に必要なサービスや施策を検討する。また、(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業には、行政機関の担当者が必要に応じてオブザーバー参加し、地域経済牽引支援機関間の連携を強化するとともに、施策を受ける地域企業

のリアルな状況を正確に把握できるようにする。特に富山県スポーツ協会が各競技団体指導者向けの会議を開催する際は、連携を密に図る。

② 教育機関

富山福祉短期大学とは、年間を通して 2 ヶ月に 1 回程度のペースで「情報交換」を実施する。(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業には、担当者が必要に応じてオブザーバー参加する。特にオープンセミナー等のイベント等を実施する際、または(株) ドリームキャリア富山が実施する学生向けイベントを実施する際には、連携を密にする。こうした取り組みを通じて、地域経済牽引支援機関が一体となり、地域企業と学生をつなぐための具体的な支援策を講じる。

③ その他支援機関

チューリップテレビと富山銀行とは、年間を通じて月 1 回程度のペースで「情報交換」を実施する。(株) ドリームキャリア富山が実施する各事業には、担当者が必要に応じてオブザーバー参加する。特に支援機関が企画・運営等主体的に実施するイベントを実施する際、または(株) ドリームキャリア富山が実施する際には、連携を密にする。こうした取り組みを通じて、地域経済牽引支援機関が一体となり、地域企業と学生をつなぐための具体的な支援策を講じる。

II 任意記載事項

1 補助金等交付財産の活用に関する事項

特になし